



Washington Japanese Language School

(祝) 60 周年 ワシントン日本語学校

2018 年 4 月 28 日発行 第 4 号

ワシントン日本語学校
校長 佐藤 良明

はなみずき

mail:wjls@wjls.org <http://www.wjls.org/>

[ワシントン日本語学校事務局]

HOT LINE (301)962-7415

TEL (301)962-7410

FAX (301)962-7411



学校経営方針から

授業も本格化し、私たち教師も豊かな学びを目指し、日々の教育活動の推進をしているところです。学校は、学校教育目標を定め、その実践に向けて教育活動を展開しています。保護者の皆様には、学校教育目標をご理解いただき学校の教育活動にご協力いただければ幸いです。

1. 学校教育目標

「国際感覚を身につけた人間性豊かな児童生徒を育成」

○確かな学力 ○豊かな人間性 ○たくましく生きる力

2. 各学部の目標

(1) 幼稚部

○日本語に親しみ、日本語で読んだり書いたりする楽しさに触れさせ日本語の基礎（ひらがなカタカナ、語彙、数）を学ぶとともに、様々な楽しい活動を通して日本文化や習慣に対する理解を深める。



(2) 小・中学部

○日本の文部科学省準拠の教科書を使用し、日本語による授業を行い、日本帰国後学齢相当授業に円滑に適応できるだけの力を育てることを基本とする。

○日本語環境の多様化に伴い、一人ひとりの児童生徒の習熟度・国語力に応じた教科指導（国語科コース別学習）を小学部 3 年生から 6 年生まで実施する。



(3) 高等部

○小中学部で培った日本語能力と日本文化の知識・理解をさらに伸ばすとともに、国語、小論文、数学の 3 教科を選択制にし、自ら学ぶ意欲や関心を高め、日本語表現力を磨くことを目指す。



3. 重点努力事項

(1) 新学習指導要領の移行に伴い、本校の実情に合った教育課程の工夫改善を行う。

(2) 教育活動全体を通して、日本語を話す力、書く力、読む力の伸長と表現力の向上を図る。

(3) 国語科の授業を中心に、幼小・小中・中高の十分な連携を図り、12 年間の系統的なカリキュラムを作成、及び園児、児童生徒理解や指導方法の研究交流を行う。

(4) 生徒指導において、一人ひとりの児童生徒の人格を尊重し、規範意識を高め、児童生徒の望ましい人間関係を育てるとともに、家庭との密接な連携に努める。

(5) あいさつの励行を重視するとともに、物を大切にすると身の周りの整理整頓に努め、環境美化の精神を育てる。

(6) 開校 60 周年という記念すべき年度の教育活動はもとより、学校行事・学年行事等の目標を見直し、大切にし、建学の精神を培い、限られた時間を活かして感動体験の機会を設定する。

(7) 図書室の充実、読書・音読・読み語りの推進を図ると共に、作品募集への応募等の機会を活かして、読書の生活化を図る。

(8) 理科の学習において、児童の興味関心を引く分かる授業、自分で観察・実験する活動を取り入れた授業の展開に努める。

(9) 「家庭は第二の学校、保護者は第二の担任」となって、家庭学習の充実を目指した取り組みが出来るよう管理運営委員会と協力して、保護者の啓発に努める。

(10) ワシントン日本語学校が、地域の日本人コミュニティの一員として、児童生徒が行事に参加し、国際社会に生きる日本人としての自覚を養う。

(11) 国語科の専科教員を配置し、新学習指導要領移行期のカリキュラムを作成、学習内容の精選化と重点化を図り、指導方法や教材研究を深め、児童生徒の国語力の習得・活用・定着・向上に努める。



特別総会(2018 年度前期)

4月22日(日) カフェテリア1において13時35分より、「特別総会」が開催されました。各部から活動報告があり、昨年度の決算・監査報告、本年度の予算案が承認されました。新旧運営委員の紹介と承認が行われ、本年度前期の運営体制が確立されました。

退任された総務部松岡部長、学年代表グリーン委員には大変お世話になりました。お陰様で、スムーズな学校運営ができました。ありがとうございました。

新しく運営委員になられた総務部金澤委員、学年代表我妻委員よりよろしくお願いいたします。また、松岡部長に代わり馬場委員が総務部長になりました。

大滝委員長はじめ委員の皆様とともに教職員が手を携え、教育活動を推進して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

学習ボランティア活動



昨年度より、本校卒業生を対象に募集し始まった学習ボランティア活動は、本年度も新たに4名の卒業生を迎え始めました。

ボランティアの卒業生は、小学部1・2年生を中心に、担任の先生の指示を受け、子ども達とコミュニケーションを取りながら、個別指導をしていました。

彼らの活動を見ていると、1ヶ月前の在校生の顔から一変して、先生の補助として立派に立ち振る舞っているのが印象的でした。先生方から、「きめ細かな指導が出来、助かっている。」「学習ボランティアの個別指導により、子どもたちが、落ち着いて授業に取りくんだ。」などの感想が寄せられました。入学したばかりで学校生活や学習のルールなど、戸惑う子どもに寄り添い、よく面倒を見ている卒業生を見て頼もしく感じ、成長ぶりを嬉しく思いました。



学校での過ごし方を守り安全で楽しい学校生活を！

○授業日は日本語を使いましょう。

○許可を得ずに携帯電話の持ち込みは出来ません。許可を得ている人でも先生が使用を認める時以外は使えません。

○ナッツ類、ガム、アメ、チョコレート等の持ち込みはできません。休み時間を含む授業時間にお菓子等を食べることは禁止です。

○日本語学校は、SR校の校舎を借りています。教室など勉強で使用する物をキズ付けたり汚したりないようにしましょう。

